

解答

一

問一 A ウ B ア C カ

問二 鼻

問三 ア

問四 エ

問五 和真は人を傷つけたりバカにしたりして、みんなで仲良くしようとしておらず、名前の持つ意味と正反対に違う。

問六 おばあちゃんにとって「ゆうな」は音だけの名前だったが、「優菜」という漢字を知ったことによって、意味を持つ名前になったことを表現するため。

問七 イ

二

問一 A エ B ウ

問二 ウ

問三 エ

問四 知らないことを読

問五 未知にふれる訓練であって、意味はわからなくても、いずれ自然にわかってくると考えられていたから。

問六 意味がわからないことを気にせず、こどもに一生このころの糧になると思われるものを読ませていることであるから。

問七 ア

三

1 オ 2 カ 3 ア 4 ウ 5 イ 6 エ

四

1 招待 2 射〔た〕 3 重責 4 寒暖 5 敬〔う〕

解説

一

問六 おばあちゃんは、自分の名前の漢字に親の気持ちのこもった意味があることを知って、感激しています。

同様に、優菜の漢字の意味を知ったことで、優菜を呼ぶ時にも名前が持つ意味を意識するようになっていくことが表現されていると考えられます。

二

問五 筆者は、「知らないことを読んで、知見をひろめ、こころを大きくしていく」きっかけとしての素読の大切

さを「わからないことを読ませる、というところが、素読のすぐれているところ」「未知にふれる訓練になる」と述べています。意味は「いずれ自然にわかってくるはずだと考えられました」とあります。